

農林水産大臣賞

こしこば

村丸ごと生活博物館越小場地区(熊本県水俣市)

—人も元気、自然も元気、経済も元気—



生活学芸員による地域の案内



地元生産物を使ったバイキング

■ 地区・むらづくり団体の概要

越小場地区は、熊本県水俣市の中心部から約8km東部に位置し、水稻、たまねぎの生産が盛んな地区である。

農業の低迷、木材需要の低迷により、地区が衰えていくことへの不安の中で、「まず、住民が元気になろう。その事が村の農業や生活の活性化につながる」という発想の転換を図り、平成18年に、越小場の自然を自分たちで保全するために集落全戸で地区環境協定を締結するとともに、むらづくりにおいて目指すべき6つの方針を定めた。

同年、「水俣市元気村づくり条例」に基づく生活博物館の認定申請を行い、水俣市において4番目となる生活博物館に認定され、それに基づいたむらづくりが開始された。

■ 主なむらづくりの取組

① 農業生産面

減農薬、減化学肥料米の栽培による環境保全型農業を推進し、少量多品種の栽培で集落内自給率の向上を図っている。

また、地元農産物を使った弁当の提供や、地元生産物を使ったバイキングを実施し、むらづくりの大きな柱となっている。

② 生活・環境整備面

環境協定を全戸で締結したこと及び訪問者の増加に伴い、地区住民の集落景観保全活動の意識が高まっている。

また、訪問者に対し、「生活学芸員」等による地域の案内等を行い、3年間で1,300人を超える訪問者が来訪している。

自分達が気付かなかった村の良さを知るきっかけとなり、村への誇りと自信を取り戻している。

■ むらづくりの特徴

「村丸ごと生活博物館」をきっかけとした地区全戸の意思統一、地区の環境保全と経済両方を支える特別栽培米「大関米」を柱とした環境保全型農業の推進、自給的農家が多いという特徴を活かした徹底した地産地消への取り組み、訪問者との交流により越小場の魅力を再発見する取り組み等、自分達の周りにある自然を活かし新たな収入源を見いだしている。

■ 地区データ

- 所在地：熊本県水俣市
- 地区の規模：7集落
- 総人口：276人
- 総世帯数：129世帯
- 農業就業人口：245人
- 主要作物等： 水稻、たまねぎ



地元生産物を使ったバイキング



訪問者との交流